

第8回 倉敷市教育委員会議事録

1 開催期日	令和4年7月7日(木)		
2 開会及び閉会時刻	開会時刻 13時30分 閉会時刻 14時06分		
3 場所	教育委員室		
4 出席者	井上正義		
	沼本浩彰		
	大原あかね		
	難波弘志		
	江原雅江		
5 会議に出席した事務局又は教育機関の職員の職氏名			
職名	氏名	職名	氏名
教育次長	早瀬 徹	次長	山本 明
参事	小野 弘志	副参事	梶田 貴代
参事	小野 敏	課長	長野 涉
部長	笠原 和彦	課長代理	堀内 秀和
参事	三宅 香織		
部長	三宅 健一郎		
参事	島田 旭		
次長	根岸 正治		
6 教育長等の報告			
.....			

7 議題 議案第35号 倉敷市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について

8 議事の概要，質問した者の氏名及びその要旨並びに議決事項

別紙のとおり

9 傍聴の状況

公開

傍聴人 0名

議事録者氏名 堀内 秀和

議事録署名委員

教育長 井上 正義

委員 沼本 浩彰

- 〈教育長〉 それでは只今から、教育委員会を開催いたします。
- 只今のご出席は5名、会議は成立いたしました。
- この度の教育委員会は、「Z o o m」によるWe b会議方式により開催いたしますので、よろしく願いいたします。
- まず、4月7日及び4月28日開催の教育委員会議事録についてでございますが、各委員の皆様におかれましては、内容をご確認いただきましたでしょうか。
- 〈各委員〉 はい。
- 〈教育長〉 4月7日及び4月28日の議事録につきまして、承認することにご異議ございませんか。
- 〈各委員〉 はい。
- 〈教育長〉 ご異議ないようですので、4月7日及び4月28日の議事録を承認することいたします。
- 前回の会議録につきましては、恐れ入りますが、次回の会議の際にご確認いただくこととさせていただきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。
- 只今、報告事項「学校給食試食会の開催について」が提出されました。これを日程に追加し、報告事項とすることにご異議ございませんか。
- 〈各委員〉 はい。
- 〈教育長〉 ご異議ないものと認め、報告事項に追加いたします。
- 本日の傍聴希望者はございません。

それでは審議に入ります。議案第35号「倉敷市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について」のご説明を、三宅部長、お願いします。

〈三宅部長〉生涯学習部の三宅でございます。

それでは、委員会資料の1ページから3ページをご覧ください。教育委員会議案第35号「倉敷市青少年育成センター運営協議会委員の委嘱について」ご説明いたします。青少年育成センター運営協議会は、倉敷市青少年育成センター条例第5条におきましてその設置について定めておりまして、その構成員である運営協議会委員につきましては、倉敷市青少年育成センター条例施行規則第4条及び第5条におきまして、教育委員会が委嘱することと定められております。令和4年10月31日をもちまして現委員の委嘱期間が満了することから、令和4年11月1日から令和6年10月31日までの2年間を任期としまして新委員に委嘱するものでございます。2ページには、新任の方、それから、退任される方のそれぞれ10名を、3ページには、新任・再任を含めました16名の方を案としてお示ししております。

ご審議のほど、よろしく願いいたします

〈教育長〉 それでは、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

それではお諮りをいたします。

議案第35号につきまして、可決することにご異議ございませんか。

ご異議ないようですので、議案第35号は可決することに、決定をいたしました。

次に、報告事項に移ります。

「(仮称)倉敷学校給食共同調理場・防災備蓄倉庫整備運営事業に係る優先交渉権者の決定について」のご説明を、三宅参事、お願いします。

〈三宅参事〉 学校教育部の参事の三宅でございます。

資料の4ページと添付の審査講評をご覧ください。山陽ハイツ跡地のグラウンド部分に整備する共同調理場と防災備蓄倉庫の整備、ならびに15年間の給食調理事業を行う事業者の選定に向けて、外部有識者を含む選定委員会を設置しまして、去る6月2日と3日に提案に関するヒアリングを実施して、優先交渉権者の選定を行いました。応募者は4団体で、どのグループも要求水準を満たしているだけでなく、非常にレベルの高い内容のご提案をいただきました。最優秀提案者としては、資料4ページの1項目目に書いてありますが、代表企業が株式会社東洋食品、東亜建設工業株式会社中国支店ほか掲載されている企業が構成員として参加しているグループが選ばれました。採点結果と審査講評につきましては、別途添付しております審査講評で、詳細はそちらでご覧いただきたいと思います。その添付の最後のページ、13ページになりますが、総評としてその中ほどに書かれておりますが、「今回の優先交渉権者に選定されたグループの提案は、学校給食運営の衛生管理への高い意識と安定的に調理業務を行うための人員配置や人材育成について秀でていたとの評価を得ました。また、学校給食共同調理場と防災備蓄倉庫の一体的な機能連携や、施設整備側での細やかな対応など具体的かつ先進的な提案も多く見受けられました」といった評価でございました。現在は、9月議会に契約議案を上程するため、契約書の詳細について協議を行っているところです。給食提供開始は、令和6年9月を想定して調整をしております。以上で報告を終わります。

〈教育長〉 それでは、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

〈難波委員〉 この事業内容について、もう一度お伺いできますか。

〈三宅参事〉 まず、契約を締結いたしまして、その後設計をお願いします。施工・建設については、別棟にはなる予定ですが、調理場と防災倉庫を一緒に造るとい

提案で上がってきています。進入路の整備とかグラウンド一带の整備も入っています。建設をして、予定では令和6年の夏休み、8月ぐらいから給食提供の準備に入っていただきまして、2学期から学校へ給食を提供するということとなっており、調理と配送もお願いします。それから、建物の維持管理、清掃だとか機械の点検とか、そういったものが入ってきますけれども、そういったものの一体的な運営というのが15年間続くということで、それらを全て含んでお願いをしております。

〈難波委員〉 分かりました。建物に関して設計・施工と、そのあと15年間の維持管理・運営ということですね。給食を作ったり、そのあとの配送なども含むことでよかったですね。

〈三宅参事〉 はい。給食の献立作成とかいうのは教育委員会の仕事なんですが、その指示によって調理をして、学校へ配送をするというところは、この委託事業の中に入っており、事業者の方がするようになっています。

〈難波委員〉 分かりました。

〈教育長〉 他の委員さんで、ご質問等ございましたら。

それでは、続きまして、「令和4年度学校給食調理場の裏側見せますツアーの開催について」のご説明を、三宅参事、お願いします。

〈三宅参事〉 学校教育部の三宅です。

資料は5ページになります。倉敷市教育委員会では、倉敷市学校給食調理場整備に係る基本方針に沿って、学校給食調理場の整備を進めているところです。今後、新たに共同調理場を設置するにあたって、倉敷中央学校給食共同調理場の施設の内部や厨房を実際に市民の皆様に見ていただく機会を設けることにしましたので、ご報告いたします。実施は、夏休みの7月23日(土)を予定しています。このイベントは、普段は関係者以外が直接入ることがで

きない最新鋭の厨房機器を揃えた調理場の中を学校栄養士の案内で回るもので、時間指定の事前予約制で実施いたします。ツアーは初回のスタートが9時30分で、時間を少しずつらしながら25コースを設定しております。1コースの定員は8名で、約50分間かけて回るような内容になっています。募集は、市内在住の人を対象として行い、定員は全部で200人、各コース先着順で決定します。申込方法は、7月8日（金）10時から市のホームページから専用サイトで申込をしていただくこととなっております。会場では、学校給食のレシピの紹介や倉敷市学校給食会、保健所などによる食に関するコーナーなども準備して、啓発活動も行う予定となっております。説明は以上です。

〈教育長〉 ご質問等ございましたら、お願いいたします。

続きまして、「学校給食試食会の開催について」のご説明を、三宅参事、お願いします。

〈三宅参事〉 学校教育部の三宅です。

「学校給食試食会の開催について」ご報告させていただきます。本日、チラシが間に合わず、画面共有にて説明させていただきますが、委員の皆様には、後日、事務局より郵送させていただきますので、ご了承ください。倉敷中央学校給食共同調理場は、「食育推進の拠点施設」として、安全安心な学校給食について理解を深めていただけるように、さまざまな啓発事業を行っており、今年度も毎年多くの方にご参加いただいております、学校給食試食会を開催したいと考えております。昨今のウクライナ情勢などの影響により、小麦をはじめとした食料品の価格上昇を受けて、地産地消を推進することによる安定的な食材確保の重要性が増してきております。そういった背景も踏まえた上で、今年度の試食会は「地産地消献立を食べてみませんか？」という

ことをテーマとして、季節の地場産物を使った学校給食の献立を試食いただく機会を提供することといたしました。開催日程は、9月22日から3月17日にかけて、7回開催したいと考えております。対象者は、市内在住の方で各回30名までとし、QRコードを使って、市のホームページの電子申請による受付とします。なお、応募者多数の場合は抽選といたします。試食会では、中央調理場の施設内部を紹介するDVDの視聴と見学、学校栄養士による献立や衛生管理に関する説明、食育ミニ講座などを行う予定です。以上、ご報告とさせていただきます。

〈教育長〉 それでは、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

続きまして、「自然史博物館の収蔵資料100万点突破について」のご説明を、三宅部長、お願いします。

〈三宅部長〉 生涯学習部の三宅でございます。

委員会資料6ページをご覧ください。自然史博物館の収蔵資料が100万点を突破しましたことについて、ご報告いたします。自然史博物館では、昭和58年11月3日の開館以来、地学や生物標本等の自然史資料の収集に努めてまいりました。この度、令和3年度の集計によりまして、資料総計が約103万3千点あまりとなりまして、100万点を超えたということで、ご報告させていただきます。この100万点という資料数は、中四国の自然史系地方博物館、いわゆる公の博物館とか個人の博物館含めてなんです、その中では最大となります。ただ、大学を含めると愛媛大学などまだ多いところもあります。収集資料の多くは個人コレクションの寄贈によるものでございまして、昆虫分野の資料が最も多く、地学資料ではティラノサウルスなどをはじめ、恐竜化石のレプリカなどの大型の資料もございます。「4 評価」の(2)に書いていますとおり、特に貴重な収蔵品としては、トキの剥製と

か、ヤマムユの雌雄型とか、テツホシダ、帯江銅山の自然銅などがございます。100万点を超えた記念といたしまして、学芸員が「これは！」というような収蔵品を自然史博物館のホームページや公式インスタグラムで7月から紹介したいと考えております。以上、簡単ですがご報告といたします。よろしく願いいたします。

〈教育長〉 それでは、ご質問等ございましたら、お願いいたします。

〈大原委員〉 質問というわけではないのですが、この「受入方法」を見ると「購入」が非常に少ないと思います。やはり自然史博物館として、何を大事にしてどういった方向に進むかということを考えてときに、購入してコレクションを増やすというのも非常に重要なことだと思います。もちろん、ご寄贈くださるということも、ご自身たちの研究の中で収集するというのも大事だと思いますが、購入に関しても割り当てられるようにしていただけたらと思います。よろしく願いします。

〈三宅部長〉 生涯学習部の三宅でございます。

購入の件でございますが、自然史博物館の資料というのは、例えば、ワシントン条約とか、そういった国際的な制限がかかっているようなものがありまして、なかなか購入というのが難しい側面もあります。そういう貴重な資料は、個人が過去にそういった制限がないときに集められたケースが多くあり、今はその寄贈を受けているというのが現状でございます。大原委員が言われましたように、購入の方にも力を入れていくよう考えていきますので、よろしく願いいたします。

〈教育長〉 続きまして、「ライフパークの集い 2022～チルドレンズ ライブ～の開催について」のご説明を、島田参事、お願いいたします。

〈島田参事〉 生涯学習部参事の島田でございます。

「ライフパークの集い 2022～チルドレンズ ライブ～の開催について」をご報告いたします。資料の7ページをご覧ください。「ライフパークの集い」は、子ども向けのイベントとして毎年開催していたものを、令和2年度と令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としておりましたが、今年度は、コロナ禍でも開催できるように参加体験型のイベントから音楽の公演や実験ショーなどの鑑賞型のイベントに内容を改めて行うものでございます。ライフパーク倉敷を会場に、8月19日（金）、時間は14時～20時で、岡山フィルハーモニック管弦楽団の弦楽4重奏公演をはじめ、科学センターの実験ショーや大道芸ショーなどを行う予定としております。募集方法は、岡山フィルハーモニック管弦楽団の公演、科学センター実験ショー、大道芸ショーについては、感染症対策としまして、事前申込制としております。市のコールセンターで8月2日（火）から受付を行う予定としております。それ以外のものにつきましては、事前申込不要の当日受付としております。今後、広報くらしき8月号やホームページへ掲載するとともに、プレスへ依頼するなどして周知をまいります。説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

〈教育長〉 ご質問等ございましたら、お願いいたします。

〈大原委員〉 これは、何歳から何歳くらいの子ども向けでしたか。

〈島田参事〉 生涯学習部の参事の島田です。

特に年齢制限は設けておりませんが、小学生以下の方は保護者同伴でということをお願いしているものです。

〈大原委員〉 上は、小学校5、6年生ぐらいまでをターゲットにしていっていらっしゃいましたかね。

〈島田参事〉ターゲットとしては小中学生になろうかと思いますが、今回、岡山フィルハーモニック管弦楽団の公演がありますので、それは、大人の方の鑑賞にも十分に耐えられるような内容と思っております。

〈大原委員〉小中学生をターゲットになさっているということは、中学生だと自分の足で、つまり親が車を運転するのではなく、車以外で行く子たちも多いと思うのですが、そういった子たちの交通の便というのは、どういうふうになさっているか教えていただけますか。

〈島田参事〉少しバス停から離れておりますが、路線バスがあります。ご近所の方は自転車などにはなるかと思いますが、公共交通機関を利用いただきながら、なるべく保護者の方に連れて来ていただければと思います。

〈大原委員〉この時期はまだ暑いかと思います。そういった暑い中を自転車で行かせるのではなく、もしも、中学生までをターゲットになさっているなら、やはりその子たちが自力で行かれるようなことを将来的にはきちんと考えていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

〈島田参事〉参考にさせていただければと思います。それと追加になりますが、お配りをしておりますチラシのことですが、事前に配布しておりますチラシに若干修正が入っております。裏面の「事前申込不要イベント」という欄になりますけれども、新たに科学センターの夏の特別展示が決まりましたので、その掲載をしております。改めて、後日、新しいものを委員の皆様方にはお送りをさせていただきます。追加になりました特別展示ですけれども、ドラマですとかアニメでよく目にします科学捜査について、体験を通して学ぶことができる企画展をする予定としております。その記事を追加で載せたものを、また後日、送らせていただきます。

〈教育長〉 よろしくお願ひします。今日、たくさん催し物等をご案内したのですが、教育委員の皆様方で、もし行っていただけるということになりましたら、教育企画総務課の方へご連絡いただけますと、また当日ご案内させていただきますので、よろしくお願ひいたします。

それでは、今日の日程はここで全部終わったんですが、最後に、難波先生から恒例のコロナ対応の方についてお話いただけたらと思います。西日本で感染者が増えているということで、それについて、お話しを聞かせていただけたらと思いますので、よろしくお願ひします。

〈難波委員〉 COVID-19感染症が出現してもう2年半を超えての年月が経過しました。こんな長い戦いになるとは思ってもいなかったのですが、今回のオミクロン株による第6波は、日本では今年の1月ごろから始まり、ダラダラと長く続いていましたが、最近では明らかに感染者数が増加しています。オミクロン株の派生株であるBA.2から、BA.4、BA.5に置き換わっていると言われており、今月中には、もうほとんどBA.5に置き換わるであろうと言われています。このBA.5というのは、BA.2に比べて感染力が強くなっており、1.3倍程度ともいわれています。確かに、今週に入り、当院では子どもたちにも、これまでで一番多いくらい発症しています。肺炎を併発するなどの重症化はしにくいのが現在の流行株の特徴であり、助かっています。学校での生活では、今までどおり、3密を避ける、手洗いの励行、適切なマスクの着用等がまだ必要とは思ひます。しかし、現在は熱中症の危険度が一番高い季節ですので、体育授業時、登下校時などはマスクを外す等適切な指導をよろしくお願ひします。最後に、ワクチンに関してですが、厚労省のホームページに載っているパンフレットであるとか、かかりつけの主治医の先生の意見を参考にして、接種を検討していただければと思ひ

ます。接種が進むことで、この夏、秋に修学旅行が実施できるような状況になることを本当に期待しています。以上です。

〈教育長〉 また、コロナにつきましては、状況が変わりましたら、いろいろご指導いただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

〈難波委員〉 はい。

〈教育長〉 それから、教育委員の皆様方には、つい2、3日前にお知らせしたかと思うんですが、いわゆるタブレットの家庭への持ち帰り及び不登校への活用につきまして、課題をこれからしっかり捉えた上で、全校でできるよう進めています。学校での対応等がまとまりましたら、定期的にお話しをさせていただこうと思います。その都度、いろいろご意見を伺えたらと思いますので、よろしくお願いします。

それと、来週、全国の都市教育長協議会と中核市の都市教育長協議会がありまして、中学校の部活動の地域移行について文部科学省の行政説明があり、そこで、いろいろ全国的な動きのお話しがあると思います。こういった教育委員会の機会に国の考え等もお話しをさせていただこうと思いますので、よろしくお願いします。原則的には、前に大原委員が言われたように、子どもの活動が今より増えないということが大原則で、土日は必ず1日休むということと、平日は1日必ず休むことを守った上でどのように移行していくのか全国的に検討するという形になろうかと思っています。大きな改革になると思うので、いろんな方のご意見を聞かせていただければありがたいと思いますので、どうぞよろしくお願いします。

〈沼本委員〉 私が明日から出席いたします、都道府県の教育委員会連合会でも教職員の免許制度、研修の方法、部活動の在り方などに関する行政説明があります。また、何らかの形で報告ができたらと思っております。

〈教育長〉 よろしく申し上げます。江原委員さん、何かございませんか。

〈江原委員〉 G I G A スクール構想の説明のなかで、小中学全校が対象ということなんです
すが、高校に関してはどうでしたでしょうか。

〈小野弘参事〉 教育委員会の小野と申します。

今、小学校、中学校に通知を出しており、全校で持ち帰りを行うこととして
います。高等学校についても、同じように持ち帰りを検討していますので、
よろしく申し上げます。

〈江原委員〉 承知しました。

〈大原委員〉 すみません、図書館のアンケート結果を見たときに、10代以下の声があま
り取られていないようです。これは、一般のアンケートなので、この次、小
学生、中学生にきちんと意見を取られるとは思いますが、やはり将来、
この人たちが使う図書館になるので、その世代の声をしっかり聞いてあげて
ください。お願いします。

〈三宅部長〉 生涯学習部の三宅でございます。

アンケートは、年齢層を均等に分けてご回答をお願いしています。やはり利
用者には、年齢層に応じて差がありまして、年齢層の低い方のほうが少なく
なっている傾向があるということもあります。大原委員が言われたように、
子どもたちが将来利用することは間違いないので、どういうふうに意見を取
り入れられるか考えてみようと思います。以上です。

〈大原委員〉 要は、使っていない人にどれだけ使ってもらうかだと思います。もちろん、
使ってらっしゃる方の声を聞くのも重要ですが、使っていない方の声も積極
的に聞いていただけたらと思います。お願いします。

〈難波委員〉 一昨日、学校の計画訪問に行ってきましたが、現場での教育支援について、先生方の大変さがよく分かりました。保護者へ教育措置を説明する際には、判断の助けとなるよう、いろいろな情報を提供することが必要と思いました。

〈教育長〉 他の委員さんはよろしいでしょうか。

それでは、事務局の方で、何か連絡の追加がありましたら、特にはよろしいでしょうか。

それでは、本日の教育委員会議は、これで終わりたいと思います。

このWeb会議ですが、これまでの開催状況を点検をしているんですが、十分に運営ができていることと評価しています。対面でないとならない内容のときには、集まっていただくよう考えていますが、今後はできるだけWeb会議を増やしていこうというふうに考えております。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。時間につきましても、今日のようにもう少し早い時間がいいという場合は、こちらへ言っていただきましたら、調整をさせていただきます。できるだけ皆さんが揃える時間帯で行っていきたいというふうに思います。

それでは、長時間、誠にありがとうございました。今後とも、よろしくお願いいたします。